

科学の祭典・ボランティアについて

令和7年11月23日(日)、「第25回 青少年のための科学の祭典 日立大会」が実施されました。この催しは「理科や科学が好きで知的好奇心に溢れた子供を育成しましょう」という趣旨のもと毎年実施されており、52の実験や工作ができるブースが出展され、当日の来場者数は約3,300人でした。

本校からは、定時制・夜間制の理科教員2名が講師として、夜間制生徒7名がアシスタントとして参加しました。総合的な探究の時間「科学探究」を選択している生徒たちは、日頃の研究成果をもとに実験や工作を紹介し、訪れた子どもたちに科学の楽しさを伝えました。ブースには終日多くの来場者が訪れ、生徒たちは一人ひとりに丁寧の説明していました。その一生懸命な姿は、とても頼もしく感じられました。

《アシスタントとして参加した本校生徒の感想》

○大変だったけど、子どもたちが安全に実験や工作ができるよう配慮し、理解できるように説明を工夫した。

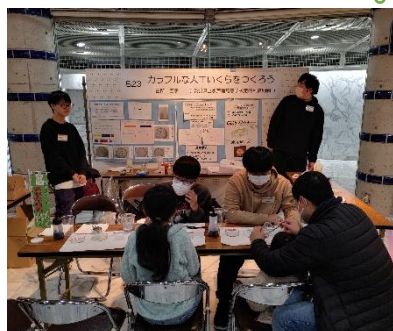
○子どもたちが驚いたり、喜んでいたり、説明により理解できた様子を見ることができて、とても嬉しかった。

○普段接することのない小学生の子と話をしたり一緒に工作して、楽しかった。

○最初は子どもたちにどのように話せばよいかわからなかったが、慣れるにつれ、余裕ができて、子どもたちの喜ぶ顔を見て、癒されました。



マイ望遠鏡をつくろう！



カラフルな人工いくらをつくろう